

2月ベトナム視察詳細

認定NPO法人「シーエスアールスクエア (CSR2)」<https://csr2.or.jp/>

理事長 宍戸仙助氏

<https://csr2.or.jp/teacher-profile/>

36年間、福島県公立学校の教員として奉職。

公立学校長を退職後は、震災前から取り組んできた東南アジア(ベトナム・ラオス)の山岳地帯で、教育環境に恵まれない少数民族の貧しい子どもたちへの支援と交流活動に身を投じている。

また、毎年20校ほどの学校建築を進めるNPO法人の参与として、現地の子どもたちの輝く瞳から学ぶアジアの子どもたちの「逞しい生きる力(自己有用感)」や、教育の原点としての「人の役に立つ人になるために学ぶことの大切さ」を伝えている。

2017年からは、NPO法人「シーエスアールスクエア(輝く学校広場)」を設立し、理事長として、年間5～7回の海外出張・支援活動と毎年60回(10年間で550回)ほど国内外での講演活動を続けている。





ベトナム中部訪問視察スケジュール 2024年2月18日～22日

月日曜	時刻	内容	便名・場所	備考	
2月18日	日	7:00	成田空港集合	・チェックイン	
	9:00	成田空港発		★VN319	
	13:40	ダナン空港着		※このフライトに限りお迎えに参ります。	
	14:20	ホテル着		■前入りの参加者集合(ホテルロビー)	
		自由時間		※希望者で軽食(ベトナム料理)	
	18:00	夕食(Madam Lan)		※ベトナム料理	
	19:15	船着き場へ移動			
	19:30	ハン川・ボートクルーズ乗船			
	20:00	ドラゴンブリッジ観光			
	21:00	下船			
	21:30	ホテル着			
			Brilliant Hotel Da Nang	162 Bach Dang Street - Hai Chau District	
	2月19日	月	8:00	朝食	
		9:30	ホテル発、タイ・ヤン郡へ		
12:00		プラオ町レストランで昼食			
13:30		タイ・ヤン郡アヴォン村、トゥグヘイ校到着			
14:00		トゥグヘイ校出発、(2)クルトゥーン校へ			
		※プレゼント贈呈、「Maaaru看板」確認。			
13:45		(2)クルトゥーン校での交流会			
		※プレゼント贈呈、文化交流会			
15:00		クルトゥーン校出発			
16:00		タイ・ヤン郡人民委員会表敬訪問			
	※人民委員会委員長面談				
17:30	タイ・ヤン郡ゲストハウス着				

18:30 歓迎夕食会(現地行政担当者と)
 ※CoTu民族の歌と踊りによる歓迎

2月20日 火 20:00 ゲストハウス着タイ・ヤン郡人民委員会ゲストハウス
 7:30 朝食
 8:30 ゲストハウス発
 9:30 ヤーン村到着、(3)アダウ中学校到着パフォーマンスによる歓迎
 水浄化システム視察 ※プレゼント贈呈。ミニ運動会
 10:45 アダウ中学校出発、途中、(4)アルイ校視察
 ※村人の家、家庭訪問。
 11:30 タイ・ヤン町内で昼食
 12:30 タイ・ヤン発
 16:00 ダナン市着
 16:10 ホテル着、チェックイン
 Sala Danang Beach Hotel 36-38 Lam Hoanh Street, Son Tra district
 16:30 自由時間(マッサージも可)
 ※天候により、砂浜で、海水浴も可
 18:30 夕食 My Hanh Restaurant ※シーフード料理
 21:00 就寝

2月21日 水 8:00 朝食
 9:00 ホテル発
 10:00 バーナーヒル到着
 11:30 ケーブルカーでゴールデnbrリッジへ(昼食)
 ※世界で2番目に長いケーブルカーで、標高差・山頂まで1368m
 12:30 ゴールデnbrリッジから頂上へ
 13:30 頂上発、ダナン市内へ
 15:00 歴史遺産見学(チャム彫刻博物館・ダナン大聖堂視察)
 (◎自由参加)
 ※チャンパ王国時代の遺跡「ミーソン」から発掘された数多くの彫刻が展示された博物館。地元で、ピンクの壁の「おんどり教会」として有名な大聖堂
 17:00 土産物品店へ
 18:30 夕食
 20:30 ダナン空港へ
 ※このフライトに限り、空港までお送りします。
 21:00 チェックイン

2月22日 木 0:05 ダナン空港発 ★VN318
 7:35 成田空港着
 7:45 解散

前回の視察の様子

【悪路の中でのハプニング、そして、森の民の知恵】

ベトナム中部の山奥、Quang Nam省、Tay Giang郡

「安全で安心して飲める飲料水の浄化装置」視察日記。

4月には、完成できていなかったA Vuong村の2校と、Dang村の2校。

T. T.Hue省のA Luoi郡から、山道を南下すること2時間。今日の午後、A Vuong村へ向かいました。

最初のT'ghey校へは、バイクでしか行けない道の工事が完成して、車で行けるはずだったのですが、その途中で、トラックが、前輪のシャフトが折れ、後輪が泥にはまり、完全に道路封鎖状態でした。仕方なく、そこからは、奥地へ歩いて向かい、まず、T'ghey校の完成を確認できました。

問題は、その奥地のL'gom校でした。バイクの後ろに乗り、T'ghey校から数キロ行かざるを得ないのですが、まだ、道路が工事中で、なおかつ、空の半分が黒い雲で覆われ始めています。教育訓練局の担当者は、「雨が降れば、道路がぬかるみ、帰れなくなるから行くのはやめましょう。」と、言っています。「この村のコトゥ族は、『森の民』です。村人に聞けば、分かるはずです。」と、私。近くにいた老婆二人に聞いてみると、「今日は、雨は降らない。」と、答えてくれました。そこで、確認訪問を決定。二人の森の民の老婆の知恵のとおり、空の黒い雲から雨は降りませんでした。

L'gom校も水浄化システムは、立派に完成していました。村人たちは、皆さん、水浄化システムの完成を本当に喜んでくれていました。こうして、二つの学校の水浄化システムの完成を確認して行くことができました。

帰り道、伐採して表皮を剥いだアカシアの木を運ぶ大きなトラックが道を塞ぎ、かなり危険な場所があり、通訳で同行していた女性が悲鳴をあげる場所もありましたが、何とか無事に、宿に着くことができました。

今日は、朝6:30(3時間後)出発で、Dang村の残りの2校の確認へ向かいます。4月に訪問した一番奥地のアルア校から、まだまだ先に行く必要があり、急勾配の細い道を登って行く予定です。